

第617回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

ラジオ番組
「中田エミリーのとりあえず生で！」



平成 28 年 5 月 23 日

BSN新潟放送

第 617 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成 28 年 5 月 23 日 (月) 午前 11 : 00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 本社 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	相羽利子	副委員長	古賀豊
委員	正道かほる	委員	小島良子
委員	佐藤元	委員	高木言芳
委員	池田幸博	委員	服部誠司

○委員側欠席者

委員	佐々木広介	委員	細田康
----	-------	----	-----

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
営業局長	斎藤和利	編成局長	島田好久
報制局長	太田志信	ラジオ本部長	高坂元己

<説明員> ラジオ本部 プロデューサー 五十嵐 滋 章

事務局

事務局員 丹羽 崇 (社長室長)

4. 議 題

1 報告事項

・ 6 月の新番組・単発番組について (各局長)

2 審議番組 ラジオ番組

・ 「中田エミリーのとりあえず生で！」

(2016 年 4 月 29 日 (金) 16:10～16:57 放送分)

5. 議事の概要

各局長からの6月度番組報告に続いて、「中田エミリーのとりあえず生で！」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 放送時間帯から若いお母さんを対象にしている番組かとも思ったが、どのような聴取者を想定しているのか今一つ見えなかった。音楽がわりと流れていて、FM補完放送にも対応しているように感じた。一方で、従来からのAMリスナー向けのムードもある。ラジオは災害時に意義ある存在だが、平常時の放送の在り方がどうなっているのか気になる。
- 今回、夕飯を作りながら聴いてみたら、主婦・ママさんがターゲットだと感じた。中田エミリーパーソナリティは、テレビで見ると元気で派手なイメージだが、ラジオではゆっくり話していて、とても聞き取りやすく、ラジオにとっても向いていると思った。また、朗読のコーナーは素晴らしい。普段、読み聞かせは顔が見えるため、表情を読み取ってしまうが、声だけだと物語の裏側がたくさん想像できる。ラジオは災害時に活躍するが、ママさんや主婦には顔が見えない分、心がつながると改めて感じた。
- 普段、ラジオをあまり聞かないため、試聴するのが苦しかったが、中田エミリーさんが、「元気に明るく」という番組の企画趣旨にピッタリだった。4月スタートの番組なのに早くもリスナーとのやり取りが多く、どこから聞いても楽しめる内容で、ライブ感があり、親近感をもってもらえると思う。朗読のコーナーは、ホームページでフォローの情報を載せてもらえる嬉しい。
- 新番組は新しい風。BSNは民間ラジオ放送の本家本元という安定感もあり、安心して聴ける番組だと思った。中田エミリーさんは思ったほどしゃべることなく、耳になじむしゃべりで、タイトル通り生放送の面白さを大事にして作っている。会場に来られたリスナーのストールをきっかけに何気ない交流を心がけ、反応を引き出してしゃべっているのも感心した。受け手と送り手の気持ちの交換であり、生放送の持つ強みが一番大事だと感じた。テレビは注目度が高いが、余所行きの正装という感じ。ラジオは日常の普段着の良さがある。生のやり取りを通じて、制作者と聴取者が同じ時間を共有するラジオの特性が生きていると感じた。言葉の気休めサプリはママ友からのシビアな悩みが寄せられたが、あまり突き詰めず共感できる内容だと感じた。ラジオは特性に合わせて、使い道の発展形が出てくる可能性を感じた。日常的に耳になじむラジオだからこそ災害時の強みにつながるので、大事に守っていかないといけない。
- 中田エミリーさんのキャラクターが良く、気軽に楽しく聞けることができる番組。言葉の気休めサプリは、ママ友の悩みにキング牧師のメッセージをつなげたのはすごい。1時間の間に2曲流れたが、選曲の基準は何かあるのか？また、テレビの視聴率のよ

うにラジオも聴取率があるのか気になった。

- 今回は車を運転しながら試聴した。ラジオは中高生の頃に一番身近な存在だった。中田エミリーさんの起用はターゲットを絞らずに全方向にむけた放送だと思うが、せっかく公開放送をやっているのに、わりと静かで来場者の音が伝わってこない。そうした理由からFMっぽく聞こえるかもしれないが、昭和のAMラジオ全開でやってほしい。また、全県のリスナーを意識した番組構成を続けてほしい。熊本地震の際にちょうど九州にいて、ラジオを聴いていたが、災害時はラジオが頼りにされるので、SNSと連動して放送する訓練もしてほしい。
- 聞き始めは賑やかすぎる感じがしたが、思ったよりしゃべりがゆっくりで、天気予報も間があって聞きやすいし、いかにもラジオらしい番組。映像がない分、人柄が直接伝わってくる。「とり生」などと省略されたタイトルがリスナーからのメッセージで紹介されていたが、早くも愛されている証拠だと思う。中田さんは言い間違いがあっても慌てず、ゆっくりと訂正して、可愛いイメージ。言葉の気休めサプリは少し引かなかった。ママ友の悩みにキング牧師のメッセージで答えるのはきつい内容だと思った。放送時間帯によって聴取者層が変わるので、番組内容も変えているのか？
- 中田エミリーさんの引き出しの多い事に感動した。車を運転しながら聴いたら、テンポの良さを感じた。久しぶりに良いラジオ番組を聞いた。言葉の気休めサプリはママ友のいじめの問題を取り上げ、非常に重い内容だが、キング牧師のメッセージは意外とさわやかな回答で、聞いている人の心に重くなく入ってきて、良い方法だと思った。今回の大人の習い事は朗読だったが、私も習いに行きたくなった。

～ラジオ本部・五十嵐プロデューサーから～

- 皆様から貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。中田エミリーさんにはお年寄りから子供までという幅広いイメージがある。また、午後3時から5時半という放送時間は、前半が主婦、在宅者向け、また、時間が遅くなるにつれて、若い層や会社帰りで車を運転中のビジネスマン向けになるため、午後5時台はニュースや天気予報、交通情報を入れている。4時台の放送は中田さん自身の魅力を出しているコーナーが多く、番組のテイストが凝縮されていると思う。音楽の選曲についてはFM放送を多少意識しているだけでなく、中田さんの英語の発音がきれいでカッコいいこともあり、洋楽の曲紹介で盛り上げたい狙いもある。平時にどうやってラジオを聞いてもらうか難しい課題だが、ラテ兼当局としてテレビと一緒にPRするなど話題作りに努めたい。大人の習い事は出演者をほめることで終わって、やりっぱなしにならないよう続編なども考えていきたい。言葉の気休めサプリは、スタッフが言葉をチョイスしている。結構、重い内容だが、爽やかに感じるのは中田さんの力に寄るところが大きい。公開放送の来場者の音は、祝日のにぎやかな時にスタジオの外にマイクを置いてノイズを

拾うのも一手だと思った。

～ラジオ本部・高坂本部長から～

- 聴取率はテレビと違い、毎日調査しているわけではない。数年に一度期間を決めて、聴取者に日記式で答えてもらっている。FM放送をスタートしたこともあり、リスナーにどの程度定着しているか確認する意味でも今後、他の放送局と協議して、実施していきたい。

【文責・番組審議会事務局】
